

令和6年度 昭島市立清泉中学校
技術・家庭(技術分野) 年間指導計画、評価規準〔第3学年〕

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4 5	4	計測・制御の基本的な仕組み	コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。	計測・制御システムにおける構成、プログラミングによる情報の処理についての知識を身につけている。 情報処理の手順について理解し、正しく理解することができる。	コンピュータを利用した計測・制御を特徴に応じて適切に行うことができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	6 7	3	生物育成の技術による問題解決	目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができること。	育成する生物の各成長段階における肥料、管理作業、必要な資材、用具、設備などについて、その生物が育つための条件に合わせた、正確な知識を身につけている。 育成計画と生物の成長の状況を見ながら、適切な資材や用具を用いて、周囲の環境も配慮しながら合理的な管理作業ができる。	成長の変化をとらえ、育成に応じて適切な対応を考えて、工夫できる。	生物を育てる目的を考え、目的に沿った育成条件と管理作業を調べ、育成計画を立てようとしている。
2	9 10 11 12	7.5	計測・制御による問題解決	情報の技術の学習を振り返り、家庭や学校生活における計測・制御に関わる身近な不便さから問題を見だし、課題を設定する。	計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
3	1 2	2	社会の発展と情報の技術	情報の技術の評価し適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。	生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術の評価し、未来に向けた新たな改良、応用について提言できる。	よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
	3	1	3年間の技術分野の学習を振り返る	技術の工夫・創造とわたしたちの未来について考え、技術と主体的にかかわる必要性について考える。	/	技術にかかわる問題を解決するには、よい面と悪い面の両面を意識し、最適な解決策を考えることができる。	持続可能な社会を構築するために、主体的に技術にかかわる態度や技術を工夫し創造する態度を身に付けようとしている。

17.5

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・製作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習レポート ・ワークシート ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・ワークシート ・定期考査
------	--	---	--